



■天候：晴れ。気温 34 度：午前中、小川フィールドにて先月窯出した竹炭材の加工洗浄（不純物除去）と乾燥・梅雨時期の大雨による農耕用水路の点検と清掃・ゲート前の駐車スペースの雑草を草刈り。用水路取水部の滝までの水路は枯れ葉や枝、土砂でかなりの作業量がありました。汗だけで取水地点までたどり着くと、滝からのひんやりとした冷気と、フィトンチットのほのかな香りに満たされ森林浴

で元気回復！

ゲートの草刈りは暑い中、北野先輩がほとんど行って下さり、きれいなフィールドの広場となりました。午後からは、妙國寺にて先月椿剪定で出た枝の棚積みを手がけましたが、午後の日差しの暑さに音を上げ、鳥獣被害(サル)によるブルーベリー園のネット破損修理を行い、熟しかけた甘酸っぱい実をほおぼり体力回復となりました。野外での活動で熱中症には強い参加者ですが、暑熱順応し安全第一で夏を楽しもうなどと相互共有し、解散となりました。



竹炭加工



木陰にて休息のひとつ



水路清掃

■ 7月活動報告

クラフト部会長 岩田 幸信



木工ボンドの補充作業を行う松岡さん

4 日(土)：雨が降るあいにくの天気の中クラフト部会を開催。鹿ヶ谷基地の裏山のうっそうとした雑草が気になっていましたが、雨の斜面での草刈りを諦め、倉庫と裏山の間に入り手の届く所の雑草を刈り取り、近くの土砂を基地内の窪地に運び土木作業を行いました。午後からは、理事長と子どもデイサービス「ゆうゆう」やその他の今後の課題と対応について意見を交しました。



19 日(日)：中国地方の梅雨明け宣言があり、暑さになれないまま、前日の「ゆうゆう」で使った資機材の運搬、整備を行い、来年の干支の羊のデザインを持寄り意見を交換。次回、デザインを決定します。4 日の参加者 5 名、19 日 3 名。

■ 「オオマドボタル」観察会

開催日 7月19日 (日)

環研部会長 佐々木綾子



当日は 16 時集合。キッズフィールドを視察し、お手製の夕食をとりながら暗くなるのを待ちました。19 時すぎ、オオマドボタルの観察地を案内していただく池上氏よりお話を伺いました。今から約 20 年前、当

時校長をされてた松ヶ原小学校に 1 通の手紙が届きました。それは日本ホテルの会の方からで「松ヶ原小学校の裏の森に大変めずらしいホテルが生息しており、調査したので資料をお送りします」とのこと。驚きと共に生徒と探索したというエピソードでした。それから 20 年。気候も環境も変わっ

てしまった現在でも観察できるのか……。薄暗い中、観察場所へ移動し、最初は「見えない」「あっ、見えた」「えーどこ??」と様々な声が飛び交う中、暗くなるにつれ「見えた」の声が増え、あちこちでぼんやり光る様は幻想的でした。また近くで光った場所を懐中電灯で照らし、オオマドボタルの幼虫を探し観察しました。

こうしていまだ観察できることは、変わらぬ松ヶ原の里山が現存しているからではないでしょうか？



松ヶ原小学校元校長の池上宏さん(左)



オオマドボタルの幼虫を探す 探し当てた幼虫